

## わが校の歴史から

### 長い歴史に幕・統合 新たに「富山市立大広田小学校」へ

#### 富山市立浜黒崎小学校



#### 地域とともに歩んだ152年

本校は、明治6年、浜黒崎の地に「黒崎学校」として開校しました。以来、校名の変更、校舎の新築や改築等、幾多の変遷を経て現在に至ります。長い年月、時代の変化に応じた教育活動を行ってきました。

今年度は、「全力でチャレンジ！自信をもってやさしく元気に輝けはまっ子！」のスローガンのもと、日々の学習や学校行事に取り組んでいます。校区内オリエンテーリングやシーサイド焼き芋等、地域の特色を生かした活動も行っています。振り返ると、登下校の見守り、田植えや稲刈り体験、家庭科ボランティアによる裁縫・ミシンの学習をはじめとして、地域の皆様に支えられ、地域とともに歩んだ152年間でした。

本校は、令和8年度より大広田小学校と統合します。子供たちには、浜黒崎小学校で培った学びや経験を生かしながら、これからもいろいろなことに全力でチャレンジし続け、やさしく元気に輝いてほしいと願っています。

### 長い歴史に幕・統合 新たに「富山市立古里小学校」へ

#### 富山市立古里小学校



#### 新たな仲間と新たな一歩を

本校は、明治6年7月6日に長沢村光円寺を借りて長沢小学校として誕生し、創立から152年となりました。古里地区は、数々の遺跡や古墳、文化遺産があることから明らかなように、「古くから開けた里」として人々の暮らしが営まれ、また地域の中心としての役割を果たしてきました。子どもたちが歴史や文化を身近に感じられるように、校区内の歴史ある寺院や遺跡からの出土品、地域行事「ふちゅう曲水の宴」等を学習と関連付けながら、ふるさとを大切に育てていきたいと取り組んできました。

4月からは富山市立音川小学校と統合し、音川地区と古里地区を校区とする古里小学校として新たな一歩を踏み出します。これまで両校が大切にしてきた地域とのつながりを受け継ぎ、子どもたちには新たな仲間と互いのよさを発揮しながら、何事にも「やってみよう」と挑戦し、新たな校風を築いてほしいと願っています。

#### 富山市立音川小学校



#### 最高の音川小学校

本校は明治7年、「英文校」「広文校」として誕生し、変遷を経て明治の終わり頃に「音川」を冠した小学校となりました。創立から151年、本校を母校として4000人以上が巣立っています。

今年度は、「最高の音川小学校をつくろう」をテーマとして教育活動を行いました。歴代の音川っ子が学んだ「音川交流センター事業」や読書ボランティア「大きなかぶ」による読み聞かせ。地域の方と共に時間を忘れて楽しみました。新しいアイデアを音川っ子が企画し、実現した「音川タイム」や「VSティーチャー」。子供も教職員も夢中になり、楽しい時を過ごしました。全校総合・生活「わたしの音川」では、一年をかけて「自分にとっての音川」について考えを深めました。音川小学校の歴史、引き継がれてきたたくさんの温かい思い。そのすべてを受け取り、子供主催の閉校式「感謝の集い」に臨みます。

本校にかかわったすべての人々の心に、音川小学校が「最高の学校」としていつまでも輝き続けることを願っています。